

どろだんご

～実習の先生との学習を経て～

9月は単式学級と複式学級に教育実習の先生がいらっしゃいました。2年生の子どもたちにとっては2回目の教育実習です。緊急事態宣言下ということもあり、手をつないだりハイタッチをしたりすることは控え、すこし距離を置きながらの関わりとなりましたが、子どもたちは実習の先生が大好きでした。

国語・算数・生活・体育・図工・音楽・道徳のすべての教科で実習の先生と学習を進めました。多くの先生がリレー形式で一つの単元を指導してくださる中でも、子どもたちは一生懸命学びに向き合い、自分たちの力を最大限発揮しながら活動をしていました。実習の先生方とお別れをした今でも、子どもたちの心をわしづかみにしている学習活動があります。それは、どろだんご作りです。



「どろだんごを作ったことがありません。」という子どもたちも何人かいました。そんな子どもたちは、最初は手が汚れることに抵抗を覚えながら、おそるおそる土を触っていましたが、そんな時間は一瞬で過ぎ去り、あっという間にどろだんご作りの虜になっていました。

作り始めると、「**大きなどろだんごを作りたい!**」「**固いどろだんごを作りたい!**」「**たくさん作りたい!**」「**もようをつけたい!**」など、思い思いのどろだんごができあがってきました。実習期間中は、タイミングよく生活科の授業の直前に雨が降り、生活科の時間には程良くぬかるんでいるグラウンドができあがっていたことも相まって、子どもたちは活動に没頭することができました。

今でも、理想の“さらこな”を探しながらどろだんご作りに励んでいる子どもたちが多くいます。長い時間をかけて表面を磨き、光るどろだんごを完成させることを目標にしている人もいます。体操服や運動靴が泥で汚れていることも多いかもしれませんが、それは夢中になっている証です！あたたかく声をかけあげてください。

